

1. 目標 (令和6年3月改善計画)

- 令和6年9月末までに、原則「荷待ち、荷役作業等時間2時間超」をゼロとする。(一部の工場は令和6年12月末まで)
- 運送事業者・トラックドライバーへのヒアリング活動を定期的に繰り返し行い、輸送業務に関わる労働環境改善につなげる。

2. 実施済み対策

① 各工場での出荷効率化投資

予約システムの導入、出荷口の増設、荷捌き場新設、旧倉庫活用、ハンディターミナル更新、無線機導入、カメラ設置、外部倉庫への出荷システム拡充

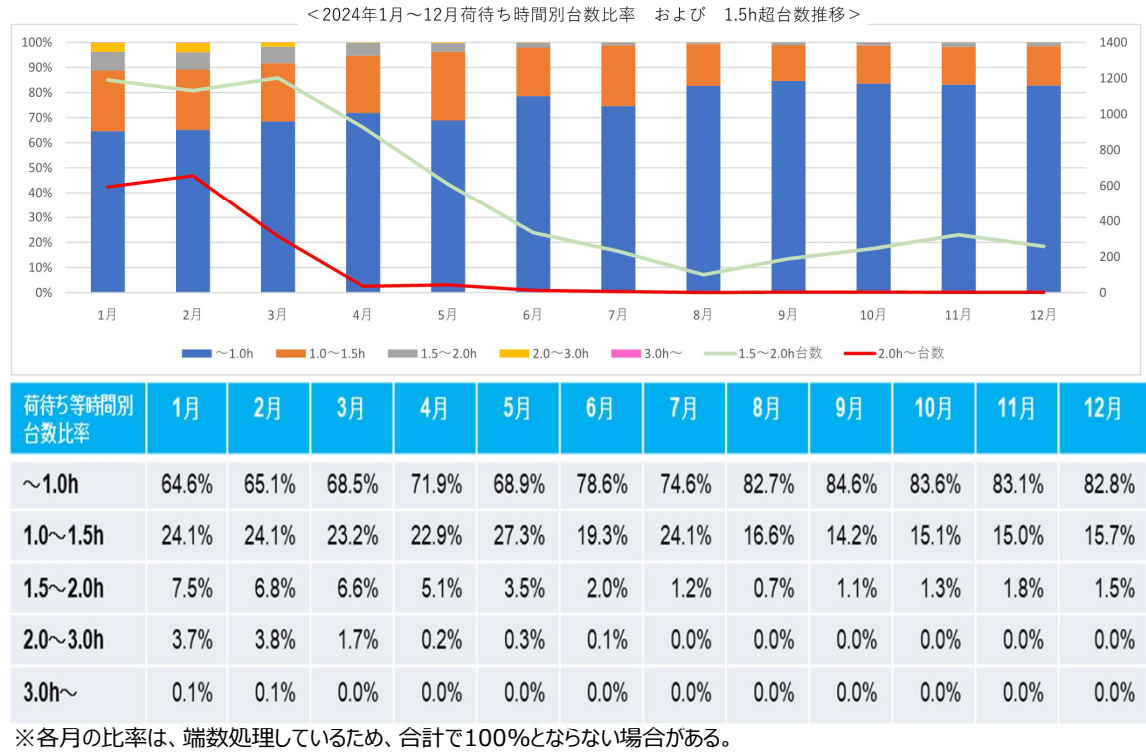
② 運送会社・トラックドライバーへの定期的なヒアリングの実施

- 王子物流と協力し、運送会社、ドライバーからの意見聴取を実施
- 意見・要望等については可能な限り対応し、輸送会社・ドライバーへのフィードバックも実施
- 滞在時間短縮の他複数積み削減、予約可能時間帯の拡大の意見・要望について対応

③ デリバリー体制の一元管理

令和6年7月 業務改善やDX推進などの課題を解決するため品種・部門を超えて調整する部署 (セールsstrategyセンター) を新設

3. 改善結果 (全工場の荷待ち、荷役作業等の2時間越え比率の変化)



4. 今後の取組み

- 悪天候など特殊な事情をのぞき、改善計画は達成されており、**今後も継続して効果を発現できる体制を整えることができた。**
- 引き続き、**運送事業者をはじめ物流関係者との緊密なコミュニケーション**のもと、関係者からの信頼回復に努めていく。

・令和6年1月の勧告後、国土交通省では、経済産業省、厚生労働省とともに定期的にフォローアップを実施してきた。  
・今後も定期的に意見交換を実施し、荷待ち等の状況を引き続き注視していく。